

科目名 (科目番号)	臨床実習IV (核医学・治療技術) (052213)	教員名	診療放射線 学科教員	学科等	診療放射線	必修	履修年次	4	
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	3		
				オフィスアワー		各担当教員シラバス参照			
授業概要	核医学検査技術学および放射線治療技術学で学んだ事柄について、将来の核医学専門技師および放射線治療専門技師として核医学検査及び放射線治療技術に携わることも視野に入れつつ演習を通して知識・技術の整理と統合化を図る。また核医学・治療技術関連の国家試験問題への対応をはかるとともに、診療放射線技術の現状と課題に関する認識を深め、探究する能力を養う。								
準備学習									
授業計画	授業項目	到達目標・学習内容							
	<p>到達目標:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習の目的を明確にできる。 2 患者の容態に応じた適切な取扱いができる。 3 検査内容を患者に説明できる。 4 放射性医薬品の安全取扱いおよび廃棄物処理等を適切に実施できる。 5 核医学検査装置の原理および各種補正法について説明できる。 6 核医学検査装置および周辺機器の日常点検を実施できる。 7 各種のシンチグラフィおよび機能解析を理解する。 8 PET検査について説明できる。 9 インビトロ検査法およびインビボ試料測定について説明できる。 10 アイントープ内用療法について説明できる。 11 核医学検査に際して、患者の適切な接遇や説明が実施できる。 12 高エネルギーX線治療における吸収線量の測定・計算、モニタ線量システムの校正、治療の位置決め、線量分布計算を理解する。 13 高エネルギー電子線治療における吸収線量の測定・計算、モニタ線量システムの校正、治療の位置決め、線量分布計算等を理解する。 14放射線治療用固定具、遮蔽ブロック、補償フィルタなどを作成できる。 15治療計画用CT撮影を理解し、治療計画ができる。 16治療計画の手順・技術を説明し、治療計画装置を適切に取扱える。 17ライナックグラフィ(L.G.), EPID, kV撮影, CBCTなどのIGRTを理解する。 18 放射線治療装置の点検・保守管理が実施できる。 19 密封小線源治療における線源位置同定、線量分布計算、投与線量の最適化等、一連の技術を正確に行える。 20 画像の電子保管業務を実施できる。 21 実習の成果をまとめ、報告する。 <p>学習内容:核医学検査技術学および放射線治療技術学で学んだ内容を活かし、臨床の場で働く診療放射線技師としての知識・技術の整理と向上化を図る。</p>								
成績評価の方法・基準	実習記録および臨床実習先からの評価等を含めて総合的に評価する								
教科書	図解診療放射線技術実践ガイド(第3版) 第一線で必ず役立つ知識・実践のすべて	遠藤啓吾 編			文光堂				
参考図書	なし								
教員からのメッセージ	実際に臨床現場での検査・治療技術を学ぶ、非常に重要な時間です。また、本学にはない検査装置、治療装置を見る・触る・勉強できる、唯一の機会です。復習をしっかりとし、医療従事者らしい態度で臨んでください。								